

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町)
TEL (0848) 377272
- ワークスさつき (美ノ郷町)
TEL (0848) 485900
- むかいしま作業所 (向島町)
TEL (0848) 446460
- 尾道福祉専門学校 (久保町)
TEL (0848) 372222
- 尾道さつき作業所 (久山田町)
TEL (0848) 238004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町)
TEL (0848) 484070
- すだちの家 (御調町)
TEL (0848) 771122
- 児童発達支援センターあいあい (木ノ庄町)
TEL (0848) 400073

尾道さつき会の障害者の事業所には「近い将来、就職したい」と希望されている利用者さんが、たくさんいます。私たち支援者はそんな利用者さんの希望をかなえるために、作業訓練や研修会、職場実習を繰り返し、就労に向けての準備を行えるよう支援しています。昨年度、尾道さつき会から5人の利用者さんが就職しました。障害があっても働いて社会に貢献し、多くの人に出会って、様々な経験が増えていきます。また、収入を得ることで経済的にも安定します。そのように、働くことを通じて得られた経験こそが、就職していった彼らを自信に導いています。しかし、障害のある人が就職し、今までとは違う環境(会社)で働き続けることについては本当に大変なことです。例えば、任された仕事をこなせるようになるまで長い時間が必要かもしれません。うまくいかない状況があったとき、誰かに伝えることも慣れるまでは緊張してしまっています。



やりがいを持って仕事をしています
ハートコープ おのみちエコセンター

就職した人を変えた交流会を3月に開催したとき、就労した皆さんから「今、こんな仕事しています」「仕事は大変だけど、頑張っています」「会社で友達ができました」というハツラツとしたあいさつがありました。それぞれの職場で社員の方がサポートして下さっている様子がよくわかりました。就職先の企業へ感謝するとともに、就労した皆さんのこれからの活躍を祈っています。

安全に気を配って仕事をしています
ハートコープ おのみちエコセンター



5人の利用者さんが就職 仕事は大変だけど頑張っています

すだちの家 河原 真理江

また、運転免許を持たない人にとって、毎日の通勤はとも時間がかかる作業ですし、「バスや電車を利用するのは初めて」という場合も少なくありません。就職後、仕事の上達や人間関係の状況は、支援者が職場訪問をして会社と連携を図りながら確認をしています。就職先からも「毎日、よく頑張ってくれている」「すごく成長した」という嬉しい言葉をいただけるようになりました。

今年度は地域のサロンに出向いたり広報新聞を作るなど、もっともっと星の里小規模の存在をアピールして、地域に根付いた施設となるよう頑張っていこうと思えます。

【訪問】では、独り暮らしの方の自宅の掃除や買い物等の家事援助はもちろん、安否確認や服薬確認のみといった5分単位での訪問も可能です。持病のため急変の可能性がある独り暮らしの利用者の遠方のご家族には「毎日訪問してくれ安否確認をしてもらえると、本当にありがたい」との言葉をいただきました。

【泊まり】では、通いに来て急きよそのまま泊まるなど柔軟な利用が可能です。通い慣れた場所・顔なじみの職員での対応なので安心してご利用いただけます。

【通い】では、時間にとられない早めの送りや遅めの迎え等、その人その人のペースに合わせた対応が可能です。通いの時間帯では、午前中にちぎり絵や計算・書き取り等の頭や指先を使う運動を、午後には体操や運動レクリエーション等身体を使う活動を行っています。また、季節に合わせた外出行事、おやつ作り、習字、囲碁、手芸、園芸など利用者さんそれぞれが趣味活動に取り組みられています。

星の里小規模多機能型居宅介護事業所(以下、星の里小規模)は、昨年4月に開所した高齢者総合ケアセンター星の里新館の2階にあります。小規模多機能とは、「住み慣れた家・地域で自分らしく生活したい」というニーズに対して、「通い」を中心に「泊まり」、「訪問」を組み合わせることで一人ひとりの暮らしを支えるサービスです。

一人ひとりの暮らしを支える星の里多機能居宅介護

それぞれの生活に合わせて

星の里小規模多機能型居宅介護事業所

則清和美



▲みんなで初詣へ。季節感を大切に

地域の中で自宅を中心に



▲薬を持って自宅を訪問

助成の交付がありました。

■広島県共同募金会

申請事業
障害者の就労訓練用ワークサンプル等整備事業
※1ワークサンプルとは利用者さんに作業の疑似体験や職業上の課題を把握してもらうものです。職場での作業能力や職業適応力を評価・予測することが可能となり、多様化する企業の就労ニーズに対応することができま。

■リョービ社会貢献基金
1月16日、NPO法人リョービ社会貢献基金浦上浩理事長から、ワイヤレスアンテナ一式の助成をいただきました。今後の支援活動の充実に活用させていただきます。

■日本財団
このたび日本財団から、平成25年度助成金の交付を受けて左記の事業を完了いたしました。



事業名: 送迎車(普通車)の整備
整備車両: ホンダ ステップワゴン
事業費総額: 162万9000円
助成金額: 130万円
施設名称: 尾道さつき作業所
事業名: 車いす対応車(普通車)の整備
整備車両: 日産キャラバン
事業費総額: 308万円
助成金額: 246万円
施設名称: すだちの家



NPO法人 リョービ社会貢献基金 ワイヤレスアンテナ整備式

寄付者一覧

(二〇一三年十月〜二〇一四年三月、順不同、敬称略)
〈寄付金〉 天野 緑、岸田 孝子、鼻孝子、大崎 玲子、崎谷 亘、アンデックス株式会社、株式会社ゆききろ、廣谷 毅、むかいしま作業所保護者会、向島地区手をつなぐ親の会、匿名希望
〈寄付物品〉 西岡光正、丹能一、須田 稔、村上俊夫、小山桂子、尾道さつき作業所保護者会、匿名希望

編集後記

サンスクリット語は古代から中世にかけてインド大陸や東南アジアにおいて用いられた言語です。日本にも中国経由で仏教や仏典とともにサンスクリットにまつわる知識や単語が伝わったとされています。新規に開設されたSukha(スッカ)を通して、古代に用いられていた言葉を知ることができました。(T.O)

Sukha(スッカ)オープン

4月から、広島市西区に定員10名の放課後等デイサービス事業所を開設しました。ここでは高等部までの児童の放課後や長期休暇中の支援をします。現在広島市内には100を超える同様の事業所がありますが、専門的な療育を提供する事業所が少ないとのことで、広島市在住の福祉関係者からの協力要請に応える形で実現しました。

なお、Sukha(スッカ)はサンスクリット語で「幸せや喜びが満ちた居心地のよい「心の空間」を意味しています。

シリーズ **福祉のしごと** 障害児・者施設編

尾道サンホーム
西本 智絵

<サンホームの概要>

尾道サンホームは、暮らしの支援(施設入所支援)と日中活動の支援(生活介護事業)を行っている障害者支援施設です。必要に応じて短期間宿泊できる短期入所事業や一時的に日中の支援が受けられる日中一時支援事業も併設しており、在宅の方の支援も積極的に行っています。



▲ストレッチャーで車椅子の方の入浴がスムーズに

<利用者さんの個々に合った支援>

生活支援員は、利用者さんの食事介助や入浴介助、排泄介助など生活全般の支援を交代勤務で行っています。心身の状況に応じ、個々の力が発揮できるよう自立に向けた支援を心掛けています。また、様々な特性があり、その人が生活しやすい環境や支援を、日々考えながら取り組んでいます。尾道サンホームには、看護師や栄養士も在籍しており、健康面や栄養面にも配慮しながら利用者さんと関わっており、他職種との連携も大事な仕事の一つになります。

生きがいを感じられる活動を



▲新年の行事を盛り上げるために被り物

日中はグループに分かれて、びんご運動公園などへ体力作りに行ったり、創作活動で作品を作ったり、ゆったりと入浴をしたりと様々な活動をしています。また、ボランティアの方に来ていただき、書道や生け花、フォークダンスにミュージックケアと地域の方と交流を深めたり、喫茶や買い物に出かけるなど社会参加や余暇支援にも力を入れています。施設内では高齢化が進み、生涯を施設で過ごすことになる利用者さんも少なくありません。日々充実した生活ができるよう、思いをくみとりながら支援を行っています。

市街地にグループホームをオープン

ワークス さつき 田口 潤

2人で広々と使えます



4月1日から栗原東に「第2サルビア荘」が開設しました。市街地のコーポ3室を借りての男性3人、女性2人、体験利用1人のグループホームです。日中は就労先や作業所に通い、夜は各自の部屋で自由な時間を過ごしています。

充実した生活支援を行うため、世話人と夜間の職員を配置して「地域の中で自立した生活に必要なスキルを身に付ける」を目標として、入居者の「自分でしてみたい」を応援していきます。

新任職員紹介

むかいしま作業所
所長 川本 准三



●就任して感じたことは

以前の事務的職場を退職し、初の福祉施設での仕事に携わらせていただいています。初めて経験することばかりでドキドキの毎日です。そんな中、利用者の方々の心の純真さを知ると同時に、人と人のふれあいの大切さを再認識しています。

●就任にあたって

新人の施設長なので、これからが勉強となります。利用者の方々の意思を大切に、職員ともども笑顔の絶えない施設であれば願っています。施設に新風を(成人式を3度迎えた高齢のため、新鮮な風にならないかも?)吹き込んで、職員の方々と共に頑張りたいと思います。



▲朝食で食べられています。木箱内の左

できあがったマーマレードは、尾道駅前にオープンした「LONOMI CHIU」のレストランでモーニングサービスのジャムとして使われています。お客様からも好評です。是非、足を運んで、お召し上がりください。

今春から、新たな取り組みとして、尾道産かんきつでマーマレード作りを始めました。
マーマレードは、果肉と果皮を煮詰めたジャムのことです。果皮の内側の苦い部分をていねいに取り除くことが、美味しさの決め手となります。この工程を利用者さんの作業にできたらと数名の方に挑戦してもらったところ、みなさん、それぞれのペースで根気強く作業をすることができました。このことをきっかけにマーマレード作りが始まりました。



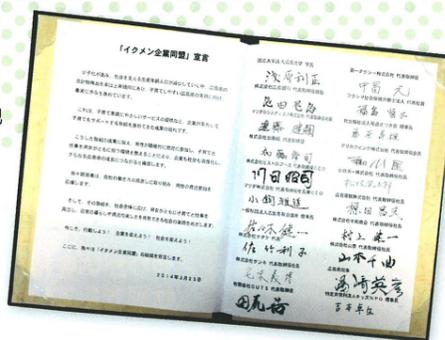
▲果皮の苦い部分を取り除く利用者さん

コッコさんの新たな挑戦
手作りマーマレードが市内のレストランに
尾道さつき作業所 松山 明代

全国初の「イクメン企業同盟」に参加

～県知事を中心に県内20団体が賛同～

総務課 坂田 晋也



長兼CEO、広島電鉄代表取締役社長など20企業の経営者です。結成式に参加した藤原理事長は、「湯崎県知事が就任後自ら模範となるよう育児休暇を取ったことで県全体がイクメンに対して盛り上がりを見せました。さらに県内で男性の育児休業を広めるため、イクメン企業同盟を結成しました。20団体での結成式でしたが、今後は賛同企業も増えるでしょう。結成式の様子はテレビニュースにも取り上げられ、マスコミも力が入った様子でした」と話し、今後の広がりに期待をしていました。

男性の育児休暇取得率は全国平均で1.89%ですが、広島県では7.2%(平成24年度)を記録しています。尾道さつき会もこれを機にさらに法人内の男性の育児・家事参加を進める環境づくりを推進していきます。

尾道さつき会では、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいます。平成24年2月6日に広島労働局長より次世代認定マーク「くるみん」を取得し、今年3月25日に「イクメン企業同盟」(イクメンを応援する企業経営者の同盟)に結成式に参加しました。イクメン企業同盟は、企業ぐるみでイクメンを増やすため、県内の企業経営者に呼びかけ、賛同する経営者で結成されました。企業内で男性従業員の育児・家事参加をすすめる環境づくりを目標としています。メンバーは国立大学法人広島大学学長、広島銀行代表取締役、マツダ代表取締役社長、



▲結成式の様子 (写真中央が湯崎県知事。前列左端が藤原理事長)